

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 7 年 6 月 9 日(2025.6.9)

【公開番号】特開 2025-4082(P2025-4082A)
【公開日】令和 7 年 1 月 14 日(2025.1.14)
【年通号数】公開公報(特許)2025-006
【出願番号】特願 2024-171781(P2024-171781)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/103(2014.01)

10

H 0 4 N 19/136(2014.01)

H 0 4 N 19/176(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/103

H 0 4 N 19/136

H 0 4 N 19/176

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 5 月 26 日(2025.5.26)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エンコーダが実行するビデオ符号化の方法であって、
ブロックの予測情報を生成し、前記ブロックのサイズを決定するステップと、
前記ブロックのサイズが閾値以下であるかどうかを判定する第 1 ステップと、
前記予測情報に基づいて、前記ブロックがローカルデュアルツリー構造の下にあるかどうかを判定する第 2 ステップと、
前記ブロックがクロマブロックであるかどうかを判定する第 3 ステップと、
前記第 1 ステップ、前記第 2 ステップ、及び前記第 3 ステップのうちの少なくとも 1 つの
ステップの判定結果に基づいて、前記ブロックに対してパレットモードを使用するかどうかを示す第 1 のフラグを、シグナリングするステップと、
を含む、方法。

30

【請求項 2】

前記第 1 のフラグをシグナリングするステップは、
前記ブロックが前記クロマブロックではない場合に、前記ブロックの幅と高さを乗じた
値が 1.6 より大きいことを条件として前記第 1 のフラグをシグナリングし、
前記ブロックが前記クロマブロックである場合に、前記ブロックの幅と高さを乗じた値が
1.6 に所定の定数を乗じた値より大きいことを条件として前記第 1 のフラグをシグナリ
ングする、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 3】

前記第 1 のフラグをシグナリングするステップは、前記ブロックが前記ローカルデュアル
ツリー構造の下の前記クロマブロックではないことを条件として、前記第 1 のフラグをシ
グナリングする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

エンコーダが実行するビデオ符号化の方法であって、
符号化ビデオビットストリームを生成および送信するステップを含み、

50

前記符号化ビデオビットストリームを生成および送信するステップは、
ブロックの予測情報を生成し、前記ブロックのサイズを決定するステップと、
前記ブロックのサイズが閾値以下であるかどうかを判定する第 1 ステップと、
前記予測情報に基づいて、前記ブロックがローカルデュアルツリー構造の下にあるかどうかを判定する第 2 ステップと、
前記ブロックがクロマブロックであるかどうかを判定する第 3 ステップと、
前記第 1 ステップ、前記第 2 ステップ、及び前記第 3 ステップのうちの少なくとも 1 つの
ステップの判定結果に基づいて、前記ブロックに対してパレットモードを使用するかどうかを示す第 1 のフラグを、前記符号化ビデオビットストリームを含めるステップと、
を含む、方法。

10

【請求項 5】

デコーダが実行するビデオ復号の方法であって、
符号化ビデオビットストリームからブロックの予測情報を復号するステップと、
前記ブロックのサイズが閾値以下であるかどうかを判定する第 1 ステップと、
前記予測情報に基づいて、前記ブロックがローカルデュアルツリー構造の下にあるかどうかを判定する第 2 ステップと、
前記ブロックがクロマブロックであるかどうかを判定する第 3 ステップと、
前記第 1 ステップ、前記第 2 ステップ、及び前記第 3 ステップのうちの少なくとも 1 つの
ステップの判定結果に基づいて、前記ブロックに対してパレットモードを使用するかどうかを示す第 1 のフラグを、前記符号化ビデオビットストリームから復号するステップと、
を含む、方法。

20

【請求項 6】

前記第 1 のフラグを復号するステップは、
前記ブロックが前記クロマブロックではない場合に、前記ブロックの幅と高さを乗じた値が 16 より大きいことを条件として前記第 1 のフラグを復号し、
前記ブロックが前記クロマブロックである場合に、前記ブロックの幅と高さを乗じた値が 16 に所定の定数を乗じた値より大きいことを条件として前記第 1 のフラグを復号する、
請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 のフラグを復号するステップは、前記ブロックが前記ローカルデュアルツリー構造の下の前記クロマブロックではないことを条件として、前記第 1 のフラグを復号する、
請求項 5 に記載の方法。

30

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法を行うように構成された装置。

【請求項 9】

コンピュータに、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法を実行させるためのプログラム。

40

50